❶夏の盛りの猊鼻渓。左部中央付近の赤い岩が獅子の鼻を思わせることから名付けられた「獅子ケ鼻」で、猊鼻の名称もこの岩に由来するもの
❷猊鼻渓と名付けた佐藤猊巖の胸像を関係者が除幕
❸式辞を述べる佐々木実行委員長
❹げいび追分を献歌
❺関連事業として行われた筑前琵琶コンサート

猊鼻渓命名百周年

日本百景の渓谷美を後世に

砂鉄川が石灰岩を浸食してできた約2キロの渓谷、猊鼻渓。国の名勝で、日本百景にも選ばれています。この渓谷が猊鼻渓と命名されてからちょうど100年目にあたる8月3日、命名者佐藤猊巖の胸像除幕式が現地で行われました。市内外の関係機関から約100人が出席。猊巖を顕彰するとともに、この景観を後世に伝えていくことを誓いました。

猊鼻渓命名100周年事業実行委員会委員長の佐々木賢治東山町観光協会長が「私財を投じて猊鼻渓開発の礎を築いた猊巖先生の功績は誠に大きい。この遺徳をしのぶとともに、さらに100年後も伝えていかなければならない」と式辞。勝部市長は「これまで多くの災害に遭いながらもこの名勝を守ってきた関係者に敬意を表する。多くの人が猊鼻渓に足を運ぶように市も情報発信を行っていく」と祝辞を述べました。

地元のげいび追分伝承会会員と舟下りの船頭らがげいび追分を献歌。盛夏の渓谷にろうろうとした歌声が響き渡りました。

同日夕方、100周年を記念した特別企画として筑前琵琶コンサートが猊鼻渓三好ケ丘で催されました。東北各地で活躍する高橋旭盛さんが「都落ち」「粟津ケ原」の2曲を披露。渓谷に響く琵琶の音色と情感あふれる歌に、集まった約100人の聴衆が聴き入りました。

猊鼻渓の名称は明治43年、芦東山135回忌がこの地で行われた際、画家や文人などの参会者を前に命名されたもの。佐藤猊巖は小学校校長、長坂村村長、東磐井郡議会議員などを歴任した人物で、私財を投じて猊鼻渓開発の基礎を築きました。

猊鼻渓は現在、市内では厳美渓に次ぐ入り込み客数を誇る観光地。平成21年は約20万人が訪れています。今年は秋まで百年祭として、さまざまなイベントが企画されています。

小学生

全国での活躍を誓う

ソフトテニス

一関ソフトテニススポーツ少年団の選手6人は8月6日から北海道旭川市で行われた全日本小学生ソフトテニス選手権大会への出場を決め、8月3日、山田巳次男監督、選手らが市役所本庁を訪れました。

5月に行われた県予選大会で、熊谷純花さん・菅原綾乃さんペア（以上一関小6年）が女子の部1位、三浦幸大君・小野寺瑛司君ペア（以上南小6年）が男子の部2位、小野崇樹君・鈴木雄大君ペア（同）が同3位の成績を修め、全国への切符を手にしました。

上　全日本小学生ソフトテニス選手権大会に出場する選手ら関係者
下　全日本小学生陸上競技交流大会に出場する選手ら関係者

選手を代表し、小野君が「一戦一戦を頑張って勝ち抜きたい」と決意を述べ、山田監督は「今回は3組が参加する。頑張ってきたい」と語りました。勝部市長は「気持ちを強く持って頑張ってほしい」と激励しました。

陸上競技

8月27日から東京の国立競技場で開催される全国小学生陸上競技交流大会に出場を決めた選手ら関係者が8月3日、市役所本庁を訪れました。

出場するのは、▽岩渕誠君（一関小6年）6年男子100㍍▽菅原暉君（同）男子80㍍ハードル▽藤原由乃さん（同）女子80㍍ハードル▽小野寺京香さん（同）女子走り幅跳び―の4人で、7月25日行われた県大会で、いずれも1位でした。

選手たちは▽「12秒半ばのタイムで決勝を目指す」（岩渕君）▽「12秒半ばを出して決勝に進みたい」（菅原君）▽「13秒5を出して8位以内に入りたい（藤原さん）▽「4㍍35を跳び決勝に進みたい」（小野寺さん）―と決意を述べました。勝部市長は「体調管理を万全にして本番に臨んでほしい」と励ましました。

ハローワーク

新庁舎で業務を開始

上　山目字前田の新庁舎
右　式辞を述べる山嵜・岩手労働局長

一関公共職業安定所（鈴木洋一所長）は、山目字前田地内の旧磐井病院跡地の一部に新築移転し、7月20日から業務を開始しました。旧庁舎は築40年以上経過し、老朽化が著しいことから新築移転したものです。

7月15日、落成式が行われ、関係者ら約40人が施設の完成を祝いました。

山嵜眞司岩手労働局長は「広く明るく安心して相談いただける環境になった。心を新たに、地域における行政サービスの向上に一層尽力する」と式辞。勝部市長は「新しい庁舎は利用者の利便性が向上する、大きな出来事。市もハローワーク、ジョブカフェ、県と連携して雇用状況が改善するよう努めてまいりたい」と祝辞を述べました。

新庁舎は鉄筋コンクリート造り地上3階建て、延べ床面積1566平方㍍。1階のピロティを駐車スペースにし、窓口は2階、選考兼会議室を3階に配置。駐車場は敷地内のほか隣接した民間地と合わせて計56台分を確保し、以前に比べ利用しやすくなりました。